

○口腔ケアの取組

開設当初より口腔ケアの重要性を認識し、歯科衛生士を配置して、細やかに対応している。

○その他

6つのゼロミッションとして、「おむつゼロ」「褥瘡ゼロ」「感染症ゼロ」「骨折ゼロ」「誤嚥性肺炎ゼロ」「残業ゼロ」に取り組んでおり、その中でも「おむつゼロ」については、「自分に置き換えて」という思いを常に持ち、利用者の状況を十分に理解しながらトイレに誘導している。また、軽失禁へのケアについては業者の支援を受けながら、様々なリハビリパンツや布のパンツを利用しケアを行っている。

○地域との連携

市内の敬老会や老人クラブの運動会に看護師を派遣（救護班）している。また、市社協が行っているボランティア養成の一環として、「傾聴ボランティア」の受講生を受け入れている。

○職員の定着

職員採用の際には事前に施設見学を実施している。また、見学時には採用者と施設職員がコミュニケーションを図り相互理解ができるようにしている。

○その他

在宅強化型の施設であることから、リハビリに力を入れており、個別リハビリは入所から3か月まで週3～5回、3か月以降は週3回実施することにより、利用者の自立度の向上に努めている。また、居室に洗面所及びトイレを設置し、自宅生活に向けた支援を行っている。

○地域交流について

事業所同一敷地内に認知症カフェを開設（月1回）し、利用者とその家族、町内会及び民生委員などが参加して、交流を図っている。

○ヒヤリハットについて

毎週、委員会を開催し、報告書に基づく事故の分析を行い対策を検討している。また、頻発する事案については、毎月の定例会に報告し、更に検討して、その結果を職員に周知を図り事故発生防止に努めている。

○職員の資質向上について

職員の経験年数、職種、職位などを考慮し、詳細に内部研修を計画して実施している。また、外部研修にも積極的に参加し、職員のキャリアアップを支援することでモチベーションアップに繋がるように努めている。